

2021年度 事業報告書

自：2021年 1月 1日
至：2021年12月31日

公益財団法人 日本国際医学協会

1、理事会・評議員会開催

第1回理事会	2021年 2月 4日 (木)	Zoomミーティング
第1回評議員会	2021年 2月18日 (木)	同上
第2回理事会	2021年12月 9日 (木)	同上

2、国際治療談話会例会開催

当財団の起源である医学談話会は、医師生涯教育の先駆けで、大正14年3月10日に発足し、昭和30年9月以降は国際治療談話会例会の名のもと既に450回以上開催されている。本例会はメインテーマのもと各専門家にそれぞれの領域の最新知見を講演していただいている。創立者石橋長英は、当時すでに専門別に細分化されつつある医学を統合する必要性を感じ、基礎医学と臨床医学の縦の連係と、臨床各科の横の連係の双方から学習することを目的とした。

さらに、医療に携わる人は病める人と向き合う上で、医歯薬以外の幅広い見識が求められるという創立者の理念に基づいて、昭和43年（第91回例会）から始まった医歯薬界以外の名士による「感想」は、当財団独自の講演であり全人的医療の推進に役立っている。国際治療談話会は医師のみならず医療関係者に対して、生涯にわたる総合医学教育の場として定着している。

今年度も、新型コロナウイルス感染症の流行によりZoom Webinarを使用したWEBでの開催となった。

今年度例会の内容は以下の通りである。

2021年国際治療談話会例会一覧

(1) 第447回 国際治療談話会例会

日時	2021年1月28日 (木)
司会	山崎 力
形式	WEB講演
テーマ	総合診療-これまでとこれから ＝総合診療の現状と将来予測 国際医療福祉大学 医学部総合診療医学 主任教授 大平善之 先生 ＝仮説形成的推論モデルに基づく診断推論方略 －プライマリ・ケアでの誤診を減らすために 横浜市立大学 医学部医学教育学・総合診療医学 教授 太田光泰 先生
感想	＝ポストコロナ時代の経営戦略 ボストン コンサルティング グループ マネージング・ディレクター&シニア・パートナー 植草徹也 先生
出席者	63名

(2) 第448回 国際治療談話会例会

日時 2021年3月18日(木)
司会 市橋 光
形式 WEB講演
テーマ ワクチンの変更と問題点
＝日本における予防接種事情
医療法人自然堂 峯小児科
院長 峯 真人 先生
＝HPV(ヒトパピローマウイルス)ワクチンの光と影ー日本と世界
自治医科大学附属さいたま医療センター産婦人科
教授 今野 良 先生
感想 ＝400年の伝統事業、継続の要諦
樋屋製薬株式会社
代表取締役社長 坂上隆彦 先生
出席者 56名

(3) 第449回 国際治療談話会例会

日時 2021年5月27日(木)
司会 近藤 太郎
形式 WEB講演
テーマ ICT、AIのヘルスケアでの活用
＝サステナブルな医療と社会を創るヘルステック・イノベーション
一般社団法人 持続可能社会推進機構
理事長/医師 高崎洋介 先生
＝ICT時代に必要な価値に基づく医療とその戦略
株式会社ミナケア
代表取締役社長/医師 山本雄士 先生
感想 ＝コンピューターが拓く未来
日本IBM
常務執行役員 最高技術責任者 兼 研究開発担当 森本典繁 先生
出席者 58名

(4) 第450回 国際治療談話会例会

日時 2021年7月15日(木)

司会 伊藤公一

形式 WEB講演

テーマ 最新の甲状腺疾患診療～内科と外科より～
＝甲状腺機能低下症と妊娠

伊藤病院

内科医長 吉原 愛 先生

＝甲状腺癌治療戦略の最近～分子標的薬を導入して～

伊藤病院

外科医員 正木千恵 先生

感想 ＝SDGs(持続可能な開発目標)への取り組み

ミズノ株式会社

相談役会長 水野正人 先生

出席者 77名

(5) 第451回 国際治療談話会例会

日時 2021年9月16日(木)

司会 村上貴久

形式 WEB講演

テーマ 医薬品・医療機器開発における薬事規制の動向
－ 医薬品医療機器総合機構(PMDA)の役割 －
＝コロナ禍での医療イノベーション推進に向けたPMDAの取り組み
独立行政法人医薬品医療機器総合機構

理事長 藤原康弘 先生

＝医療機器の開発と審査における最近の動向について

独立行政法人医薬品医療機器総合機構

医務管理監 山本晴子 先生

感想 ＝社会保障の制度とヒューマンサービス

社会福祉法人日本心身障害児協会 島田療育センター

理事長 河 幹夫 先生

出席者 45名

3、国際治療談話会総会開催

本総会は昭和36年より毎年1回11月に開催し、例会同様に総合医学教育を実践するだけでなく、医学を通じた国際交流に寄与するため、随時海外の医学者を招待し最新知見を取り上げている。総会においても医歯薬以外の名士による「感想」講演があり、講演会終了後の懇親会は国際医学交流並びに会員相互の親睦、情報交換の場となっている。また、平成14年度からは創立者石橋長英の名を冠し、石橋記念講演を開催している。これは、日本で活躍中の海外からの若手医学研究者を奨励する医学講演であり、国際医学交流の普及に貢献するため毎年開催している。

今年度も新型コロナウイルス感染症の流行により、WEB講演での開催となった。

今年度総会は以下の内容であった。

第61回国際治療談話会総会

日時	2021年11月18日（木）
司会	石橋健一
テーマ	ウィズコロナの医療体制
講演Ⅰ	＝新型コロナワクチンへの挑戦 ファイザー株式会社 代表取締役社長・医師 原田明久 先生
講演Ⅱ	＝世界中にサイトカインストームを起こした新型コロナウイルス感染症 順天堂大学大学院医学研究科 ベアーテ・ バイオリソースバンク活用研究支援講座 特任准教授 ハイジッヒ先生
講演Ⅲ	＝地球規模展望 世界保健機関健康危機管理対策 地球規模感染症対策部 上級顧問 進藤奈邦子 先生
講演Ⅳ	＝ドイツにおける新型コロナウイルス感染症 ベルリン グローバルヘルス研究所 マティアス・ 所 長 ボンク 先生
感想	＝ドイツ基本法と日本国憲法の比較～日本国憲法を改正すべきか？ 明治大学大学院法学研究科 専任教授 ハインリッヒ・ 比較法研究所 所 長 メンクハウス 先生
出席者	97名

4、国際医学交流

医師生涯教育に並んで当財団の主要な事業に国際医学交流がある。国際医学交流は伝統的にドイツとの間で盛んに行われ、過去に多くの医師や研究者が当財団を通じて交流を果たしてきた。また、これらの交流は市民まで広がり、栃木県の下野（旧 石橋町）とディーツヘルツタール（旧 シュタインブリュッケン）、群馬県の草津と日本近代医学の父 ベルツ博士生誕の地ビーティヒハイムビッシンゲンのように市姉妹都市締結にまで至った歴史がある。

今年度も、新型コロナウイルス感染症の流行により、国際医学交流を推進することは叶わなかった。

5、会報(International Medical News)発行

インターナショナル・メディカルニュース（IMN）を隔月刊行する。

本誌は例会並びに総会講演抄録の和英両文からなり、全会員および医学関連機関・国立国会図書館に配布され、当協会ホームページから随時、閲覧できダウンロードも可能である。

わが国の医学医療の現状を紹介すると共に、国際医学交流に活用され今年度は下記の通りに発行した。

インターナショナル・メディカル・ニュース（IMN）

第503号（2020. 11. 26総会）～第508号（2021. 9. 16例会）非売品

6、報告事項

（1）石橋理事長

2021年 ベルツ賞贈呈式

日 時：2021年12月1日（水）

場 所：駐日ドイツ連邦共和国大使公邸

（2）伊藤公一常務理事

記載報告なし

（3）近藤太郎常務理事

記載報告なし